

小学校の現場の先生がつくる、現場の先生のためのWEBサイト 旺文社小学校外国語活動サポートサイト



『学校英語ハピラボ』8/5 開設 授業で使える豊富な英語活動教材が無料でダウンロード

教育出版社の株式会社旺文社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 赤尾 文夫、以下旺文社)は、小学校での外国語活動を支援するWEBサイト「学校英語ハピラボ」を2008年8月5日(火)にオープンいたします。

WEBサイトオープンの背景

2008年3月に文部科学省より新しい小学校学習指導要領が告示され、2011年度から小学校高学年に週1時間(年間35時間)の「外国語活動」が必修化されることになりました。しかし、財団法人日本英語検定協会が行った「公立小学校の英語活動に関する現状調査」によると、61.3%の教員が授業で使う教材・教具についての情報を必要としているなど、現場の先生方は小学校での外国語活動に対して多くの悩みや不安を抱えているのが現状です。

そこで、旺文社では、実際に小学校現場で教鞭をとる先生方の執筆・制作・協力のもと、忙しい先生方がそのまま授業で使用できる教材などを掲載したWEBサイト「学校英語ハピラボ」を開設いたします。「現場の先生がつくる、現場の先生のためのWebサイト」として、子どもたちが英語と楽しく豊かに出会うことをサポートいたします。

「学校英語ハピラボ」WEBサイト概要

名称:旺文社小学校外国語活動サポートサイト **「学校英語ハピラボ」**

サービス開始日:2008年8月5日(火)

ホームページアドレス: <http://hapilab.obunsha.co.jp>

主なコンテンツ:授業で使える無料教材ダウンロード

授業で役立つクラスルームイングリッシュの無料音声ダウンロード

小学校外国語活動に役立つ書籍・Webサイト一覧 など

サービスのターゲット:外国語活動に関わる先生方



サイトTOP画像

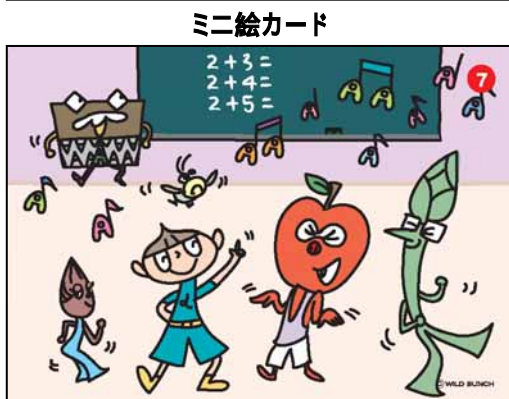
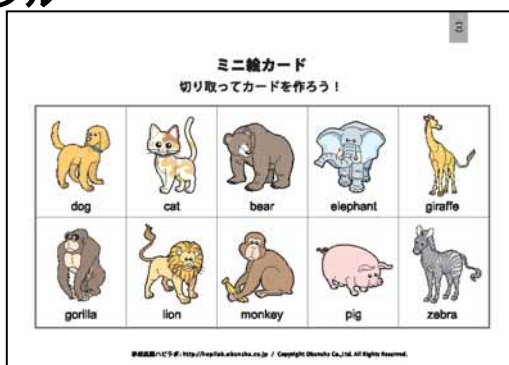
「学校英語ハピラボ」3つのポイント

忙しい先生に！無料でダウンロードできる高品質な教材をそろえています。ハピラボの教材は、忙しい先生方のことを考えダウンロードした教材に手を加えることなく、そのまま授業で使用できるように制作しました。

英語が不安な先生に！先生自身の英語力や指導力をアップするための参考資料の紹介や、授業を行なううえで必要な音声のダウンロードが無料でできます。

現場主義の教材！ハピラボで扱うコンテンツは、実際に小学校現場で教鞭をとる先生が執筆、制作したものであるため、現場の先生方の要望にそった教材になっています。

教材サンプル



単語クイズシート

【教材を使用した先生方からの感想】

(カッコ内は使用した教材の名前)

- ・ 教師が教材を作る手間が大幅に省けました。(ミニ絵カード)
- ・ 短時間でできるので、子どもたちは楽しく取り組んでいる様子でした。また、このシートのおかげで子どもの学習理解度も客観的に分かり、とても役立ちました。(単語クイズシート)
- ・ リスニング形式の簡単なクイズなので、子どもたちが「英語がわかる！」と実感することができ、英語活動に対するモチベーションが高まりました。(単語クイズシート)
- ・ 紙しばいの途中で流れる歌は子どもたちに大人気で、授業が終わってからもその歌を口ずさんでいる様子が見られました。(ABC 紙しばい)



教材を使った授業の様子



サイト名の「学校英語ハピラボ」の「ラボ」は“研究室”という意味のラボラトリー(laboratory)からきており、小学校でよりよい外国語活動を実施できるよう、現場の先生と共に研究を進める場を目標としています。また、ハピラボの「ハピ」は「ハッピー/happy」のことで、外国語活動が先生にとっても児童にとってもより楽しいものになるように、また、サイトに来た先生がハッピーな気持ちになれるようにという願いが込められています。

〔参考資料〕 財団法人 日本英語検定協会 (2008) 「公立小学校の英語活動に関する現状調査」

【会社概要】

社 名： 株式会社 旺文社
 代 表 者： 代表取締役社長 赤尾 文夫 設 立： 1931年10月1日
 本 社： 〒162-8680 東京都新宿区横寺町 55 / TEL: 03-3266-6400
 事業内容： 教育・情報をメインとした総合出版と事業
 U R L： <http://www.obunsha.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社旺文社 広報担当：山縣・三澤
 TEL:03-3266-6495 FAX:03-3267-1355 E-mail: pr@obunsha.co.jp